

令和4年度における県内2空港の利用状況について

- 令和4年度の定期便利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には及ばないものの、航空需要の回復により、県内2空港ともに前年度と比較して増加

<山口宇部空港>

- 定期便の利用者数は68.9万人となり、前年度と比較して約32.9万人の増加

<岩国錦帯橋空港>

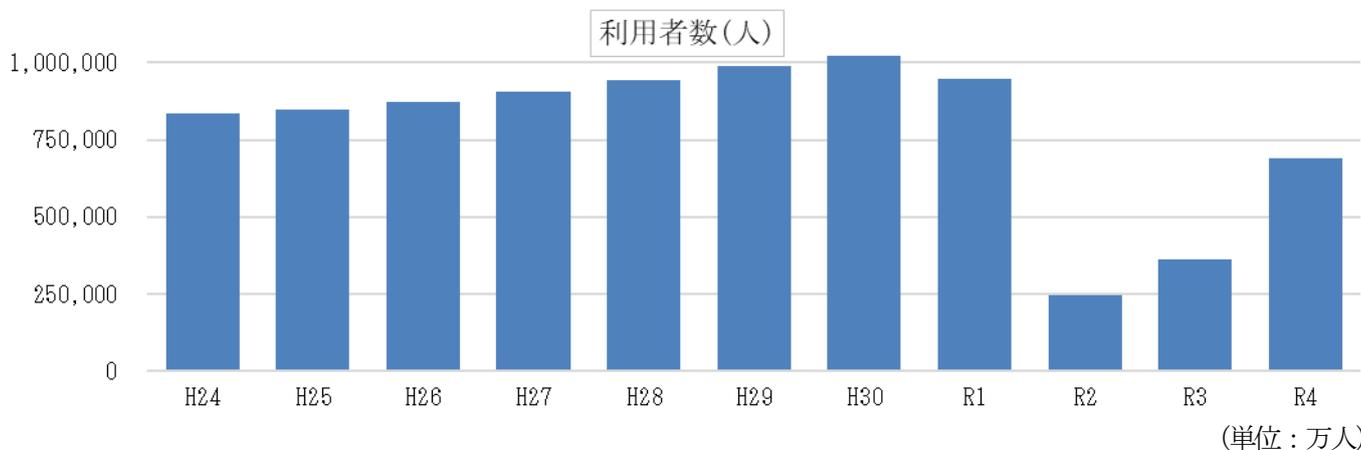
- 定期便の利用者数は36.2万人となり、前年度と比較して約23.0万人の増加

1 山口宇部空港

(1) 定期便【東京（羽田）線】

路線	区分	R4年度	前年度比較		H30年度（コロナ前）比較	
			R3年度	増減	H30年度	増減
東京（羽田）	利用者数（A）	689,299人	360,148人	+329,151人 (+91.4%)	1,005,481人	△316,182人 (△31.4%)
	座席数（B）	1,206,533席	832,478席	+374,055席 (+44.9%)	1,370,669席	△164,136席 (△12.0%)
	利用率（C=A/B）	57.1%	43.3%	+13.8ポイント	73.4%	△16.3ポイント

[参考] 山口宇部空港利用者数の年度別推移



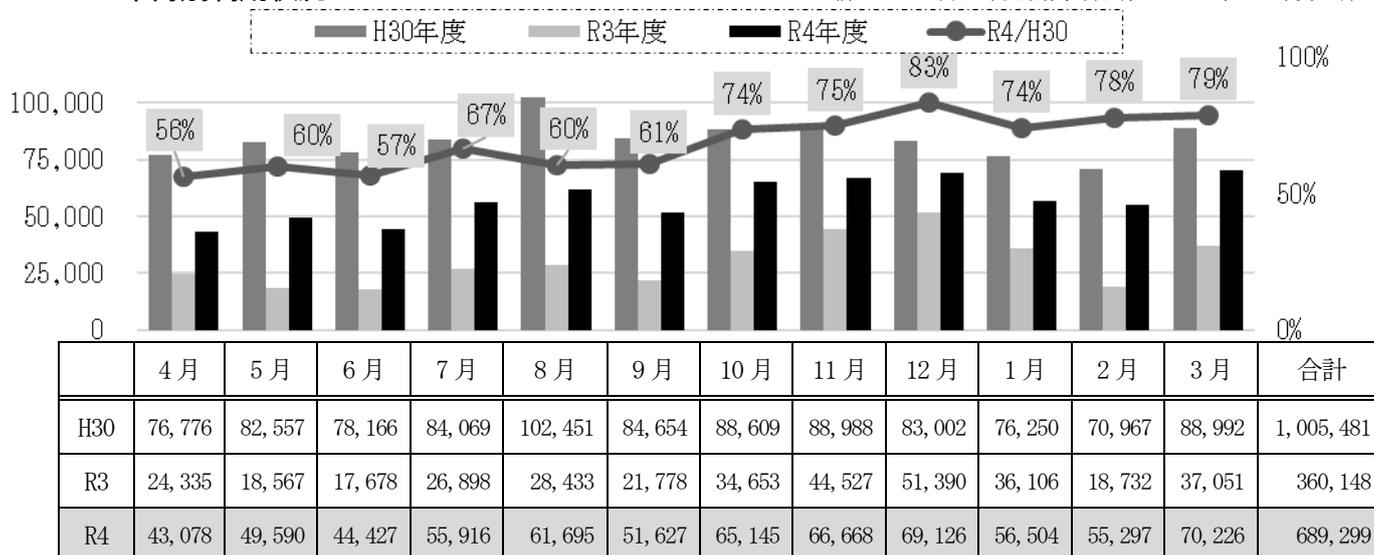
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国内	83.4	84.9	87.4	90.5	93.0	97.1	100.5	94.7	24.6	36.0	68.9
国際	—	—	—	—	1.5	1.8	1.7	—	—	—	—
計	83.4	84.9	87.4	90.5	94.5	98.9	102.2	94.7	24.6	36.0	68.9

(2) 定期便【東京（羽田）線】概況

令和2年3月以降は減便や運休が続いていたが、令和4年4月28日の全便運航再開以降は少しずつ利用が回復し、年間での利用者数は約68.9万人（対前年度+91.4%）となった。

◇月別利用状況

（棒グラフ・下表は利用者数、折れ線グラフは対H30年度比率）



(3) 臨時便【東京（羽田）線】

臨時便は年末年始にANA（全日本空輸）により8便が運航され、利用者数は773人となった。

(4) 国内チャーター便

国内チャーター便はFDA（フジドリームエアラインズ）により14便が運航され、利用者数は927人となった。

[参考] 国内チャーター便 前年度比較

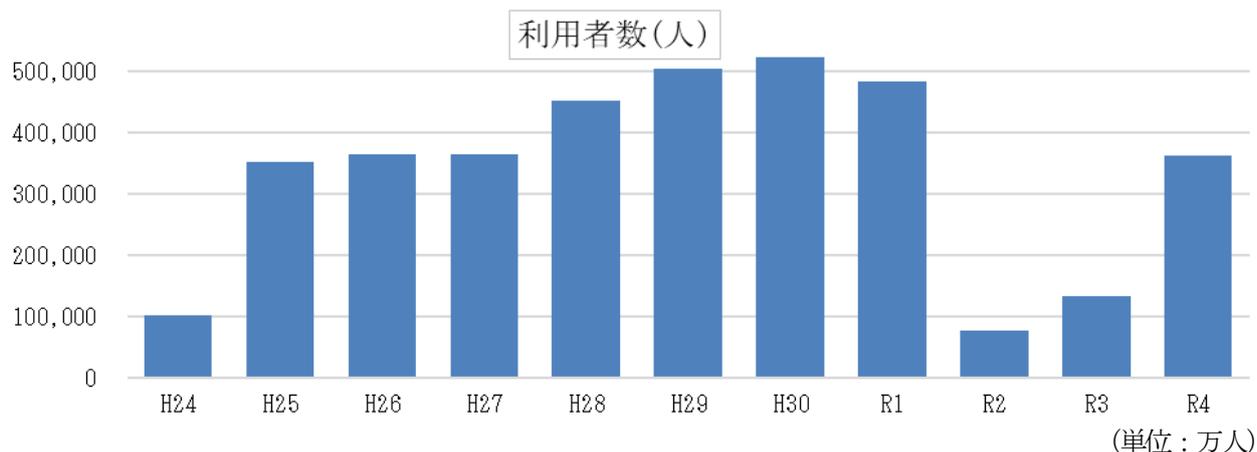
区分	R4年度	前年度（R4-R3）比較	
		R3年度	増減
便数	14便	8便	+6便
利用者数	927人	386人	+541人
行先	稚内、福島、小松、 下地島、久米島、 石垣島	仙台、長崎、種子島、 奄美、下地島	—

2 岩国錦帯橋空港

(1) 定期便

路線	区分	R 4年度	前年度比較		H30年度（コロナ前）比較	
			R 3年度	増減	H30年度	増減
合計	利用者数 (A)	362,610人	132,726人	+229,884人 (+173.2%)	522,703人	△160,093人 (△30.6%)
	座席数 (B)	693,568席	316,489席	+377,079席 (+119.1%)	747,314席	△53,746席 (△7.2%)
	利用率 (C=A/B)	52.3%	41.9%	+10.4ポイント	69.9%	△17.6ポイント
東京 (羽田)	利用者数 (A)	301,764人	127,205人	+174,559人 (+137.2%)	450,389人	△148,625人 (△33.0%)
	座席数 (B)	573,052席	299,723席	+273,329席 (+91.2%)	627,584席	△54,532席 (△8.7%)
	利用率 (C=A/B)	52.7%	42.4%	+10.3ポイント	71.8%	△19.1ポイント
沖縄 (那覇)	利用者数 (A)	60,846人	5,521人	+55,325人 (+1,002.1%)	72,314人	△11,468人 (△15.9%)
	座席数 (B)	120,516席	16,766席	+103,750席 (+618.8%)	119,730席	+786席 (+0.7%)
	利用率 (C=A/B)	50.5%	32.9%	+17.6ポイント	60.4%	△9.9ポイント

【参考】岩国錦帯橋空港利用者数の年度別推移



年度	H24*	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
東京	10.3	35.2	36.6	36.4	41.4	43.1	45.0	41.4	7.4	12.7	30.1
沖縄	—	—	—	0.1	3.7	7.2	7.2	6.9	0.3	0.6	6.1
計	10.3	35.2	36.6	36.5	45.1	50.3	52.3	48.4	7.7	13.3	36.2

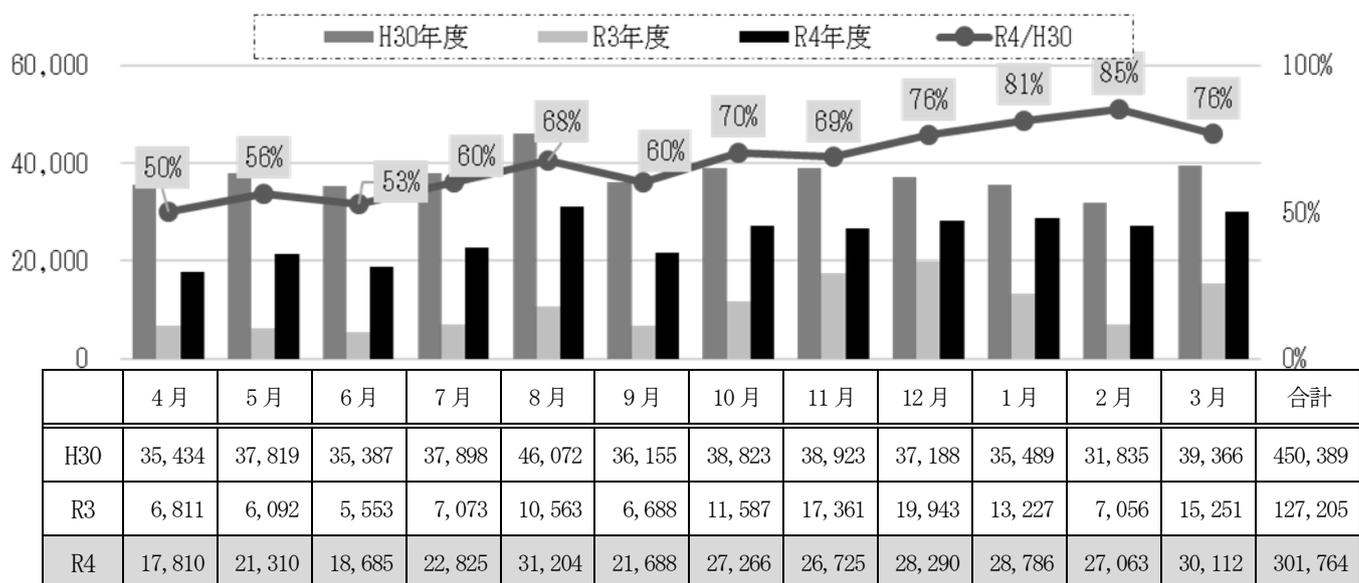
※H24は12月～3月

(2) 定期便【東京（羽田）線】概況

令和2年3月以降は減便や運休が続いていたが、令和4年7月2日の全便運航再開以降は少しずつ利用が回復し、年間での利用者数は約30.2万人（対前年度+137.2%）となった。

◇月別利用状況

（棒グラフ・下表は利用者数、折れ線グラフは対H30年度比率）



(3) 定期便【沖縄（那覇）線】概況

令和2年3月以降は、年末年始や春休み等の需要が見込める時期を中心とした運航のみとなっていたが、令和4年3月18日に毎日の運航が再開。11月以降は平成30年度（コロナ前）を上回る利用となり、年間での利用者数は約6.1万人（対前年度+1,002.1%）となった。

◇月別利用状況

（棒グラフ・下表は利用者数、折れ線グラフは対H30年度比率）

